

平成 29 年度第 1 回「学校改革！教員の時間創造プロジェクト」会議

平成 29 年 10 月 26 日（木）9 時 30 分から
教育委員会事務局 7 階会議室（マスミューチュアル生命ビル）

- 1 開会
- 2 遠藤教育長挨拶
- 3 出席者紹介
- 4 議 事
 - (1) プロジェクトの設置及び本市の状況等について
プロジェクトの趣旨説明について

本市の状況について

これまでの取組みについて

- (2) 今後のスケジュールについて

- 5 閉会

『学校改革！教員の時間創造プロジェクト』の設置について

教育政策課

1 設置目的

子どもたちの豊かな人間性を育むためには、教員が意欲と能力を最大限発揮し誇りをもって働くことが重要であり、教員が自らを研鑽し、家族や仲間と過ごし絆を深め、文化芸術や自然に触れるなど心豊かに過ごす時間を確保するとともに、教員が授業や授業準備等に集中し、疲労や心理的負担を過度に蓄積して心身の健康を損なうことのないよう、教職員の長時間勤務の看過できない実態の改善に向けて今できることは直ちに行うことを目的に「学校改革！教員の時間創造プロジェクト」を設置するもの。

2 背景及び概要

平成28年度に文科省が実施した教員勤務実態調査によって教員の長時間勤務の実態が明らかになり、平成29年8月29日、中教審特別部会における「学校現場の働き方改革に関する緊急提言」が取りまとめられた。

これらを受け、本市においては、「学校改革！教員の時間創造プロジェクト」を立ち上げ、学校現場と教育委員会事務局が一体となって教職員の長時間勤務の改善に取り組む。また、取組の具体的目標と改善方針を明確にした「学校改革！教員の時間創造プログラム（仮称）」を策定し、その成果と課題を検証しながら継続的・反復的に業務改善を推進する。

3 国の状況

平成27年7月 「学校現場における業務改善のためのガイドライン」策定

12月 中教審総会による「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）」

平成28年6月 学校現場における業務の適正化に向けて（通知）

次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の在り方と業務改善のためのタスクフォース報告

平成29年8月 中教審特別部会による「学校における働き方改革に係る緊急提言」

4 本市のこれまでの取組等

平成21年度 「学校現場の負担軽減検討委員会」設置

平成25年度 「熊本市立学校事務職員の標準職務について（通知）」発出

「教職員の負担軽減に関するアンケート」実施

平成27年度 「学校現場の負担軽減事例集」作成・配布

5 教員の実態把握の方法

(1) 「教職員の負担軽減に関するアンケート（平成25年度）」[教育政策課実施]

(2) 教職員の業務実態調査（平成26年度）[文科省実施]

(3) 教員勤務実態調査（平成28年度）[文科省実施]

6 具体的取組

(1) 緊急提言への対応

タイムカードによる全教職員の勤務時間の把握

勤務時間外における留守番電話の設置

学校閉庁日の設定

休養日を含めた適切な運動部活動の設定

管理職マネジメント研修の充実と意識改革

業務改善方針・計画の策定

ICTを活用した教材の共有化及び校務支援システムの導入

諸調査等の精査及び適正化

給食費の公会計化、学校徴収金の口座振替による徴収及び事務職員等を活用した未納金の督促

事務機能の強化

(2) プロジェクトで改善に取り組むべきとした事項

7 スケジュール

第1回会議（10/26）プロジェクト発足

【内容】プロジェクトの設置目的、全体スケジュールの説明、質疑等

第2回会議（11/20）

【内容】各課におけるプロジェクトの具体的取組の提案、プロジェクトの具体的取組に対する学校現場の現状と課題、質疑等

第3回会議（12月中～下旬）

【内容】改善プログラム（たたき）の提案、プロジェクトの具体的取組の追加提案、質疑等

第4回会議（1月中～下旬）

【内容】改善プログラム（素案）の提示、各課におけるプロジェクトの具体的取組の決定、質疑等

第5回会議（2月中～下旬）

【内容】改善プログラム（案）のとりまとめ、各課におけるプロジェクトの具体的取組の新年度の取組方針、質疑等

8 メンバー構成

構成	教育委員会事務局教育次長 ・教育委員会事務局教育総務部長 ・教育委員会事務局学校教育部長 ・関係課長 ・小中学校長 ・小中学校教頭 ・小中学校主幹教諭又は教諭 ・小中学校事務職員代表 ・その他、プロジェクトが必要と認める者
----	---

はプロジェクトリーダー